

平成27年 近畿大学医学部 推薦入試ポイント

I 番 (空所補充)

come alive 「生き生きしてくる」、number 「(動詞で) 達する」、free 「(動詞で) 自由に～させる」、run fingers through hair 「人の髪を指ですく」、be honored to do 「～することを光栄に思う」、keep the floor 「一方的に発言し続ける」、old hand at~ 「～に熟練している」、side with 「～に味方する」、pencil in 「～を予定に入れる」、field 「(動詞で) 対応する」

II 番 (文法知識)

誤り部分を見つけて消去法で正答選択肢を絞り込む (難問で大きく差がつく問題である)

much of the 特定の名詞に the をつける。

spread の過去分詞形は spread である。

step down 「～から降りる」

現代科学の進歩は特定の名詞なので the をつける。

人口増加は the increase in population

資源は resources of the earth

advice は不可算名詞

seemingly 「見たところでは」

It was'nt only when という言い方はない。

human は形容詞

what I would'nt give to~ 「～するためにはどんなことでもしたい」

the 名詞 that 名詞の内容 (同格の that) は主語、補語、目的語の位置に来る。

「早く」は earlier ではなく faster や quicker を用いる。

「昔の人」は people in the past

「発生率が低い」 have a lower rate

「ストレスと無縁の生活」 people without stress

「心臓発作」 heart attacks

「～に備えて～するとよい」 you should . . . just in case~

Ⅲ番 (整序問題)

back to the drawing board 「最初からやり直す」

see the back of~ 「~を追い払う」 nasty 「不快な、嫌な」

bite off more than you can chew 「手に負えないことをする」

mind one's own business 「他人の私事に干渉しない」

grow up doing(done) 「~しながら (～されながら) 成長する」

social stratification 「社会的成層」

関係代名詞の目的格の省略と 主語と動詞の呼応の問題

be willing to do 「~するのをいとわない」

A be claimed to do 「Aは~するとされている」

Itは形式主語で that 以下を受ける。Asは比例を表す接続詞

Ⅳ番 (長文の中での空所補充)

with great precision 「極めて正確に」、concreteness 「具体性」、swinging like 「~のように揺れ動く」、pendulum 「振り子」、column 「柱」、orbiting 「軌道を回ること」、descending 「~が下降する」、the Earth's spinning 「地球の回転」、spinning round like a top 「コマのように回る」、screw 「ねじ」、anchor 「いかり」、only to do 「残念ながら~する」
apparent 「見せかけの」、with a jolt 「がたん (jolt=急激な衝撃)」、overtake 「~を追い抜く」、overruns 「定位置を通り過ぎる」、overdoes 「~をやり過ぎる」、overrides 「~の上を通り過ぎる」、fool A into~ing 「Aをだまして~させる」、fake 「~を偽造する」、doom 「~を運命づける」

Ⅴ番 (長文問題)

how= the way in which = the manner in which への推測、these microbial ecosystems 「微生物の生態系」、assure that~ 「~を確実にする」、verify 「~を実証する」、anatagonistic 「敵対関係」、with the hope that~ 「~という目的を持って」、keep one's fingers crossed that~ 「幸運を祈って~する」、12 to 18 months apart 「12ヶ月から18ヶ月離して」、stretch 「拡大解釈、こじつけ」、associated with~ 「~と関連がある」